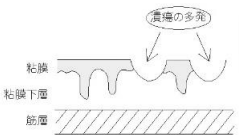
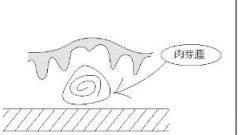
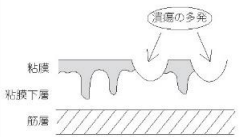
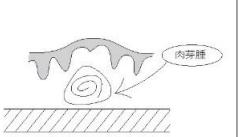


**国試の麗人**

p 691 表				
誤	潰瘍性大腸炎	クローン病		
				
	病 態	びらんや潰瘍を形成する大腸の原因不明のびまん性非特異性炎症	原因不明で免疫異常の関与が考えられる肉芽腫性炎症性疾患	
	症 状	下痢、腹痛、発熱、体重減少、粘血便、貧血など	下痢、発熱、体重減少、肛門部病変（痔瘻など）、貧血など	
	好発年齢	10代後半から30代前半に多く、若年者から高齢者まで発症する。	10代後半から20代の若年者に多い。	
	病変部位	口から肛門まで	大腸のみ	
	病理像	粘膜下層を中心にマクロファージが浸潤 → 肉芽腫をつくる。	粘膜を中心にリンパ球が浸潤 → 潰瘍が多発する。	
肉眼所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続性病変</li> <li>・偽ポリポーシス、ハウストラの消失（鉛管像）などを認める。</li> <li>・活動期と寛解期を繰り返す。</li> <li>・炎症が続くと大腸がんの発症リスクが高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非連続性に縦走潰瘍、敷石像</li> <li>・腸管の瘻孔、狭窄などを認める。</li> </ul>		
正	潰瘍性大腸炎	クローン病		
				
	病 態	びらんや潰瘍を形成する大腸の原因不明のびまん性非特異性炎症	原因不明で免疫異常の関与が考えられる肉芽腫性炎症性疾患	
	症 状	下痢、腹痛、発熱、体重減少、粘血便、貧血など	下痢、発熱、体重減少、肛門部病変（痔瘻など）、貧血など	
	好発年齢	10代後半から30代前半に多く、若年者から高齢者まで発症する。	10代後半から20代の若年者に多い。	
	病変部位	大腸のみ	口から肛門まで	
	病理像	粘膜を中心にリンパ球が浸潤 → 潰瘍が多発する。	粘膜下層を中心にマクロファージが浸潤 → 肉芽腫をつくる。	
肉眼所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続性病変</li> <li>・偽ポリポーシス、ハウストラの消失（鉛管像）などを認める。</li> <li>・活動期と寛解期を繰り返す。</li> <li>・炎症が続くと大腸がんの発症リスクが高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非連続性に縦走潰瘍、敷石像</li> <li>・腸管の瘻孔、狭窄などを認める。</li> </ul>		